

# 流山 九条ニュース

「九条の会・流山」事務局  
石林 7154-7511 三原 7152-6559  
山田 7144-3993



2016.3.1 NO.120

「九条の会・流山」HP：<http://www.nagareyama9.org/>メール：[info@nagareyama9.org](mailto:info@nagareyama9.org)

## 《流山憲法集会》

5月22日(日)

### 「憲法学から見た 2015年安保体制」



講演:

**木村草太**さん

首都大学東京准教授

13:00開場

**13:30開会**

流山市生涯学習センター

TX線流山北外環駅 資料代500円

高校生以下無料

#### 草太さんは語る (ネットの対談記事から一部を要約)

戦力ってのがあって、戦力保持は禁止されているんですね。これまでは「自衛のための最小限の実力であればそれは超えない」って言ってきたんですけど、集団的自衛権ってことになれば自国の防衛以外に使うような実力も持たないと当然できないですよね、海外に出かけて行ってやるわけですから。なので、当然これまで言ってきた日本国への武力攻撃を排除するための最低限度を超えたものを持たなければならない。(最低限度のレベルも変わる)

レベルも変わるんですけど、仮に9条1項で集団的自衛権は禁じられていないってことになったとしても、集団的自衛権を行使するための実力を持っていないという可能性があるわけですね。集団的自衛権の行使が行政権にも外交権にも含まれていないので、日本国憲法がそれをやることを想定していないってことです。よく私が例に挙げるのは、要するに野球部の部長がいきなりサッカー部の遠征費用を支出しようとしている局面なんですよ。普通は野球部員が「いや、何で出すんですか!？」ってことになった時に規約で禁止されていないからって言うような感じですね。よくその「書いていないんだから出来んだろ」って言われるんですけど、逆に、ちゃんとした根拠がなくっちゃやっちゃいけないんですよ。

## 南スーダンで 戦闘参加の危険 戦争法の廃止は急務

陸上自衛隊は南スーダンに国連PKO(平和維持活動)＝国連南スーダン派遣団(UNMISS)として約350人を派兵しています。

2月17日夜、「武装した南スーダン政府軍がUNMISSキャンプに侵入し、住民に発砲し、略奪し、

テントを放火した」と国連安保理が声明を発表。

改定されたPKO法では自衛隊の任務に、



警戒に当たる軽装甲機動車

「安全確保業務」と称して「住民保護」や特定区域の「監視、駐留、巡回、検問、警備」が加わり、これら任務遂行のための武器使用まで認めています。

日本政府は、海外派兵にあたり「国または国に準じる組織が登場しない」ことを前提にしています。仮に武器を使用しても、国際紛争への参加ではなく、憲法9条が禁じる「海外での武力行使」にあたらないと説明するためです。

しかし今回は政府軍によってキャンプが襲われたのです。交戦になれば憲法違反の海外での武力行使そのものです。

南スーダンでは深刻な部族間の対立が続き、数千人が死亡、240万人が家を追われたということです。最後に残された安全なはずの国連施設に20万人が逃げ込んでいる。そこに武器が持ち込まれ、武装集団による衝突が発生。政府軍も加わって住民を殺傷したのです。

このままでいけば必ず自衛隊員の戦闘行為も起こり、戦死者も出る。それを安倍総理は認めようとせず、危険は拡大しないと張りつめています。

大事に至る前に戦争法を廃止しないと取り返しがつかないことになり兼ねません。

当会は会費ではなくカンパだけで運営しています。ご協力ください。

## ヒトラー語録から

ナチスは「国家社会主義ドイツ労働者党 (NSDAP、ドイツ以外の国では普通は蔑称としてナチスNAZISと呼ばれる)を名乗り、労働者の党の装いで権力を掌握すると、一転して国民の権利を抑圧して独裁体制を敷きました。その独裁者ヒトラーの徹底的な大衆蔑視の言葉はいま改めて私たちが警戒しなければいけないのは何かを表しているのではないのでしょうか。

<アドルフ・ヒトラー語録>

- ◆民衆がものを考えないということは、支配者にとっては実に幸運なことだ
- ◆嘘を大声で、十分に時間を費やして語れば、人はそれを信じるようになる
- ◆政策実現の道具とするため、私は大衆を熱狂させるのだ
- ◆天才の一瞬の閃きは、凡人の一生に勝る
- ◆平和は剣によってのみ守られる
- ◆退路を自ら断つとき、人はより容易に、より果敢に戦う
- ◆並外れた天才は、凡人に対して配慮する必要はない
- ◆弱者に従って行くよりも、強者に引っ張って行ってもらいたい…大衆とはそのように怠惰で無責任な存在である
- ◆大衆の多くは無知で、愚かである
- ◆圧制はただ圧制によってのみ、そしてテロはただテロによってのみ破ることができる
- ◆今日では金が唯一の人生の尺度になったかのようだ。しかし再び人が気高き神に頭を垂れる時が来るだろう
- ◆教育の最後の仕上げは軍隊ですべきである
- ◆私は『説得』よって、全てを作り出した

## ますます危ない シビリアンコントロール 自衛隊「制服組」権限拡大を要求

これまでは3年ごとの自衛隊の基本計画の方向性を示す「指針」を、いわゆる「背広組」の防衛官僚が中心になって作成。その「指針」に沿った具体的な「作戦計画」を「制服組」の自衛官が中心に作っていました。

しかし、今回は「制服組」が「計画」にとどまらず「指針」の作成にも中心的に関わりたいと「背広組」に求めていると報道されています。

昨年「文官統制」の規定が廃止されて両者が対等な立場に変えられた結果です。「背広組」は反発しているといいますが、背広組を次第に無視し議会まで威圧していった過去を忘れることはできません。シビリアンコントロールが危ない。軍がクーデターを起こした2. 26事件は1936年、ちょうど80年前のことです。

## 危険を無視して再稼働

原発の再稼働が続く。2月26日関西電力の高浜原発の4号機の再稼働が行われた。これで4基目。2月20日、汚染水の漏れが明らかになったばかりだ。漏れの原因はパイプのボルトが緩んでいたと報道されている。しかし問題はその対策。



再発防止策をとったというが、報道されているのはパーツを取り換え、ほかのボルトの状態も確認したというだけ。ほんとう？これでは単なる修繕と点検だけではないか。かつてトラックの脱輪事故があって大問題になったときでさえ、原因の構造を明らかにしリコールしたはずだ。車輪の締め付けを確認して走りまわったなどというレベルの問題ではないはず。

なぜ起こったのかの原因追及は行われたのか。単純な原因でしたというのなら逆に「なぜそんな単純なことが起こったのか」そこにある技術なり、製品なりの貧弱さは深刻だと気付くべきであろう。こんな無責任な形で再稼働し、避難先も確保されていない。そして重要免震棟もできていないのだ。福島原発事故の際、倒壊をまぬかれて対策の司令部が置かれた施設だ。中越地震の教訓からその必要性が新潟県などからも訴えられ、しぶしぶ東電がつくった施設だったが、これがなければ事故に対応できず、被害が拡大し東京も人が住めなくなったかもしれないという。これらを後回しにして再稼働を急ぐ危険性。恐ろしいことだ。しかもMOX燃料はウランの再利用で安上りというが実はウランより9倍も高い価格で購入されていることが判明した。

## 総がかり実行委員会

3月

15日	火	東京50駅・全国主要駅3・15一斉街宣 ・署名行動	全国各地
19日	土	13:30~ 戦争法を廃止・安倍政権の暴走を許さない 3・19総がかり日比谷大集会	日比谷野外音楽堂で 集会、その後銀座デモ
26日	土	12:30~ 原発のない未来へ！3・26全国大集会 in 代々木公園	代々木公園
29日	火	18:30~ 戦争法発動反対！戦争する国許さない 3・29閣議決定抗議！国会正門前大集会	国会正門前

## 流山 3月の行動予定

- ◆3月9日(水)「おおたかの森駅」  
15:30~ 宣伝・署名
- ◆3月19日(土)流山連絡会による宣伝・署名  
おおたかの森駅 16:00~17:00

カンパはこちらの郵便振替口座へ

00130-5-464735 口座名 九条の会流山

**お願い!** 世話人になって下さい。